

## 第75号表紙(目次)・奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/47105">http://hdl.handle.net/2297/47105</a>



# 金大考古

第75号

*The Archaeological Journal of Kanazawa University*

vol.75 April 2017

## 目次

1999 韓一蒙考古学術調査

モンゴル トゥブ<sup>アイマク</sup>県ムンゲン・モリト<sup>ソム</sup>郡イフ・ホトル、ホスティン・ボラク遺跡  
大韓民国国立中央博物館・モンゴル国立歴史博物館・  
モンゴル科学アカデミー歴史研究所（大谷 育恵 訳） …… 1-23

近年のホスティン・ボラク遺跡（匈奴の生産址遺跡群）の調査

臼杵 勲・笹田 朋孝・木山 克彦 …… 24-35

地名民俗学事始め

～地名研究の民俗学的着地点 地名から民俗学はできるのか～

吉松 高敏 …… 35-57

金沢大学人文学類 考古学研究室

2017年4月



## 『金大考古』投稿規程

1. 原稿は e-mail で編集委員に送る。
2. 校正は編集委員及び執筆者が校了を同意するまで行う。
3. 査読は編集委員 2 名を以って行なう。
4. 原稿の著作権は著者に属す。ただし、電子データ等の公開権利は金沢大学及び金沢大学考古学研究室が有する。

## 『金大考古』執筆要項

1. 版面について：InDesign の場合、文字版面は A4 版横書き 24 字×42 行横 2 段組。余白天 30mm 地 27mm 左 22mm 右 22mm。word は類似の大きさに。ヘッダー「金大考古 号数, 発行年 筆者・論文名・ページ数」、フッターにページ番号。
2. 書体：InDesign 和文は、MS ゴシック（論文タイトル 20Q・著者名 16Q・見出し 13Q）、本文テキストは MS 明朝 13Q、欧文は Times New Roman、14Q。Word 和文は論文タイトル・著者名・見出し 10.5P は MS ゴシック、本文テキストは MS 明朝 10P、註・参考文献は MS 明朝 9P、欧文は Times New Roman。文字大きさは InDesign とほぼ同じとする。
3. 原稿・図版類の入稿形態について：原稿は Word または InDesign とし、図版類は JPEG, PDF など汎用性のある形式でデータも提出する。その他のデータ形式の入稿は編集委員と協議する。文中に配置・貼付し、キャプション (InDesign 11Q, word 9P) も記載する。
4. 使用言語は日本語、英語、中国語を基本とする。
5. 文章表記について： 度量衡単位は cm、kg、m<sup>3</sup>等のように記号を、数量は算用数字を使用する。
6. 註・参考文献について：註は通し番号を付し、文章末尾に一括して掲載する。本文中の参考文献は執筆者と刊行年を明記し、引用箇所が明確な場合はそのページ・行数を参考文献とともに記入する。
7. 挿図・写真図版について：a. 挿図はデジタルトレースまたは手書きトレース済みの完全版下とし、縮尺・写植・見出しなどの指示を入れる(写真図版も同様)。b. 編集作業を潤滑におこなうため、割付見本を作製する。c. 挿図および表は典拠を明記する。但し執筆者自身の原図・表の場合には断る必要はない。
8. e-mail アドレスを論文末尾に掲載

## 『金大考古』編集委員

足立拓朗 (金沢大学)、大谷育恵 (日本学術振興会 PD, 京都大学人文科学研究所)、小川光彦 (日本海域水中考古学会)、垣内光次郎 (石川県埋蔵文化財センター)、勝俣竜哉 (御殿場市教育委員会)、小松隆史 (井戸尻考古館)、櫻井秀雄 (長野県埋蔵文化財センター)、佐々木達夫 (金沢大学名誉教授)、庄田知充 (金沢市埋蔵文化財センター)、高濱 秀 (東京国立博物館名誉館員、元金沢大学教授)、野上建紀 (長崎大学)、前田清彦 (鯖江市教育委員会)、松永篤知 (金沢大学資料館)、渡辺芳郎 (鹿児島大学)

---

## 金大考古 第 75 号

金沢大学人文学類  
大学院人間社会環境研究科  
考古学研究室  
920-1192 金沢市角間町  
kanazawa-u\_koukogaku@live.jp  
2017 年 4 月 6 日

---